

# 91年度中学1年オリエンテーション合宿の概要

山 田 孝

**【抄録】** 本校の学校改革の一環として、一昨年より実施された中学1年生のオリエンテーション合宿も2回目をむかえた。今年は、去年の反省をふまえ、入学式後日を置かずに実施することになった。中高6ヵ年一貫教育の出発点にあたる、中学1年のオリエンテーション合宿の概要を報告する。

**【キーワード】** オリエンテーション合宿、仲間づくり、共同作業、学校行事

## 1. はじめに

一昨年から始められた中学1年オリエンテーション合宿は、中高6ヵ年一貫教育の出発点として位置付けられて実施されている。オリエンテーション合宿実施にあたっては、検討段階から実施に至るまで、昨年の紀要に報告されているので、昨年=91年度に関しては、その概要の報告にとどめたいと思う。

昨年のオリエンテーション合宿が一昨年と大きく異なる点は、昨年の紀要のオリエンテーション合宿実践報告の今後の課題として提起された内容をふまえている点である。次年度の実施例として、2例紹介されているのだが、1つは、4月初旬、もう1つは、4月下旬の実施が提案されていた。91年度は、前者の案にそって、4月初旬、入学式直後に実施することにした。これは、できるだけ早い時期に新しい仲間での集団づくりを行い、本校の一員として様々な取り組みに主体的に参加できるようにするためである。「実践報告」でも指摘されているのだが、「活力ある主体的な集団活動を体験した者ほど、後の高校生活において、自治能力の高い組織活動に貢献する傾向があると経験上思われる。」というように、できるだけ早くに段で自主的な活動への参加が必要であろうと考える。

● できるだけ早い時期に設定すると、当然準備の時間も限られてくる。合宿の内容も前年度と変更せざるを得なくなった。短い準備期間で、自主的な活動を用意するという一見矛盾した内容になった。できるだけ、合宿中にできる内容（事前の準備があまりいらない）として、共同作業を導入した。これは、班ごとにグループの旗を作ろうというものであった。

## 2. オリエンテーション合宿実施内容

(1)日程 (4/11～4/12)

日 程	行 事	係
(1日目)		
8:30	学校集合 (テニスコート雨天時： 各学級)	班長
8:40	学校出発 (人員点呼、健康チェック) ・バス内：自己、他己紹介 校歌練習 トイレ休憩 (恵那峡S・A、人員 点呼)	保健 班長
10:30	センター到着 開会式	
10:50	ハイキング出発 (雨天) 体育館で綱引き大会、 他のゲーム	班長 レク
12:00	高塚山昼食	
13:00	センター到着 (人員点呼)	班長
13:10	綱引き大会、他のゲーム (体育館)	レク
15:00	学級旗、グループ旗制作 (体育館)	班長
17:00	風呂	班長
18:00	夕食 (食堂)	食事
19:00	研修 (第一研修室) ・生活、学習 ・綱引き、ゲーム表彰 ・学級旗、グループ旗発表	班長
21:30	自由	
22:00	就寝準備 (人員点呼、健康チェック、 部屋整頓)	班長
22:10	就寝	保健 美化
(2日目)		
6:30	起床・着替え	班長

91年度中学1年オリエンテーション合宿の概要

7:10	散歩（高峰湖周囲） （玄関前集合、健康チェック）	班長 保健
8:30	朝食（食堂） 部屋のそうじ	食事 美化
9:30	研修（各クラスに分かれて） ・クラス役員選出 ・クラス目標設定 ・作文	
11:30	昼食（食堂）	食事
12:30	部屋片付け	美化
12:40	閉会式（第1研修室）	班長
12:50	バス乗車	
14:40	学校到着（テニスコート集合、連絡等）	
15:00	解散	

目的 ・中学校での学習方法を学び、生活全般について知識を得る。  
・小集団、学級、学年での仲間意識を育て、学級の基礎作りを行なう。

時 4月11日(木)、12日(金)

場所 東海地区国立大学共同 中津川研修センター

(2)事前指導、実施までの経過

4月6日 入学式

4月8日 始業式

4月9日 学校オリエンテーション、ホームルーム

4月10日 ホームルーム、事前準備

入学式から、オリエンテーション合宿までの準備の時間が限られており、第1回のオリエンテーション合宿の内容を精選せざるを得なかった。はじめに述べたように、生徒自身の活動としては、1日目の綱引き大会、それからグループ旗の成作。2日目の午前中の研修（いわゆる学活の内容）である。

どれも事前の準備としては、手のかからないものばかりであった。事前準備というより、合宿の中で準備し、主体的に行動しなければ成り立たない内容であった。その分、行ってみないとわからないという要素も多かった。

(3)1日目の内容について

当日は、朝から雨であり、各教室での集合、出発となった。当然、1日目の予定が変更され、ハイキングは中止、食事の後の体育館でのドッチボール、綱引き大会となった。入学して5日目、班も出席番号順にしたわりには、まとまって取り組むことができた。

グループ旗の成作については、事前に下書きを用意させたのだが、グループごとに様子が大きく異なった。この企画の中で、班ごとでの話し合いと、役割分担に

よって1つの物を完成させるという共動作業としての目的があった。リーダーのもとに意見が集約され、班内での役割分担が自覚的に運営されているところでは、多少の困難があっても旗を完成させることができた。話し合いのルールや、協力の弱い班は、色々な困難、たとえば、下絵の変更、それによる班内の対立など、いくつかの問題に直面することになった。こうした、いきちがいや考え方の違いを前提として、集団、クラス、学級が動いていることがわかり、自らの手で問題を克服できるようになっていくことが望ましいのではないだろうか。

夜は、目的にあったように学習に対する動機付けである。これも今回初めての試みで、学習に対する態度も養なおうとしたものである。

(4)2日目、学級会活動について

2日目の午前中に、時間をかけてホームルームを行った。いわゆる学級会活動である。通常であれば、あまり親密でなく、お互いに名前もよく知らないうちから、学級の役員を決めていたのだが、オリエンテーション合宿を通じて、クラスの仲間との連帯を深めての役員の選出である。2日間の生活を通じて、理解を深めたせいも、全役員に立候補者が複数出て、お互いに抱負を述べあって活発に選出を行うことができた。これも合宿の成果であろうか。

### 3. 生徒の感想より

短い合宿であったが、参加した生徒はどんな感想を持ったか2～3名分紹介する。

**堀田秋津**

班の旗作りでは、意見のくいちがいがおきてしまい、なかなか取り組めずに困っていました。

先生も言っていましたが、多勢の人が、一つの事をするのはとてもむずかしいようです。班長として、他の人達の意見も聞いていきたいと思っています。

**木村幸代**

班対抗で綱引きの勝ちぬき戦をやりました。ここで力を合わせ協力することの楽しさ、すばらしさ、そして、喜びを学びとることができました。

**加藤溶子**

グループ旗を作るまでが本当に大変でした。まとまらない意見、それに思いうかばないアイデア、途中で本当に「なんでこんなもん作らないといけないの!？」という声が高まった。それを乗り越えてできた旗。日本中、いや世界中に1つしかない2班の旗です。

### 山崎葉月

オリエンテーション合宿の目的としては、とっても充実していて良かったと思います。遊べることもあったし、勉強になったこともありました。例えば、各科目の授業のやり方、授業の取り方、そして内容。各学級での係、委員、室長、副室長の役割り、又どんなことをやりするのかがわかりました。

### 西川梨恵子

学校のこと、よくわかったしみんなの性格とかもだんだんわかってきました。あの子はこんなところがいい所、あの子はこんな所が悪いところ、よくわかりました。でもいやだなと思った子とでもその子のよい所をみつけてあげて仲よくしたいです。

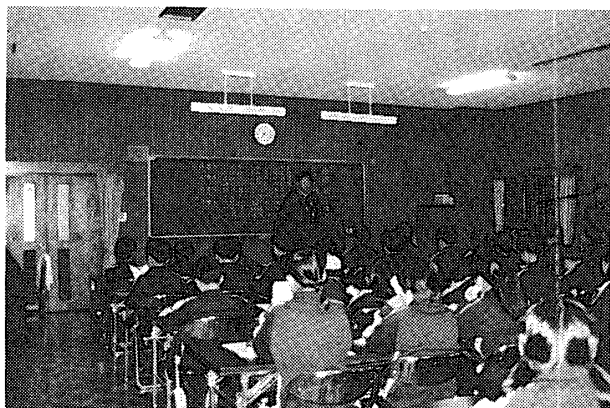
### 中村文明

オリエンテーション合宿に行って、僕はクラスのまとまりがよくなったと思う。ドッチボール、綱引き、班の旗作りなどで、力を合わせてやったことで、クラスのまとまり方がよくなったと思う。

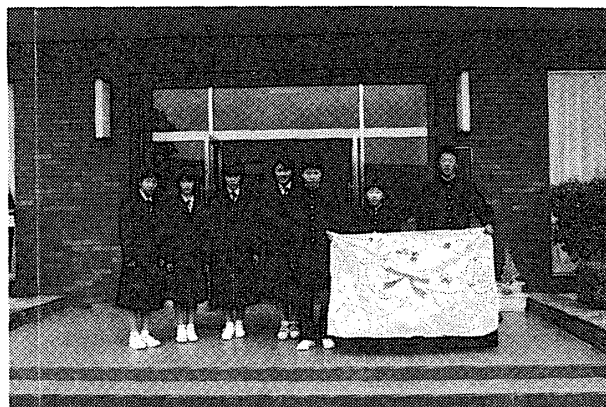
## 4. おわりに

一昨年から始まったオリエンテーション合宿は、その目的やねらいによって、実施時期が早められたが、頭初の目的を不十分ながら達成できたのではないだろうか。紹介した生徒の感想文にあるように、クラス内の連帯を意識することが、短期間ではあったのだが、できるようになったのではないだろうか。一方で、共同で作業することの困難さも感じたであろうが、それを乗り越えることの必要性もわかったのではないか。

しかし、1つの学校行事で、生徒が全面的に成長するのも困難である。中高6ヵ年一貫年教育の中で、主体的な能力を全面に発達させる取り組みをする必要があるだろう。中学1年生のオリエンテーション合宿はまさに、その出発点である。内容的には、継続する中で、よりよいものに完成させていく必要があるだろう。今ある学校行事が有機的に結びついて、確固たる人間像を形成していくよう実践を続けていくことが必要だろう。



① 夜の研修の風景



② グループ旗を持つての記念写真